

## インフルエンザ(2026年第13週)疫学情報

《コメント》

2026年第13週の定点当たり報告数は6.46(患者報告数24,536)となり、前週の定点当たり報告数9.75よりも減少した。都道府県別では北海道(14.40)、石川県(14.09)、富山県(14.00)、鳥取県(13.86)、長野県(13.52)、新潟県(11.96)、沖縄県(11.31)、島根県(11.25)、山形県(10.03)、福井県(10.00)の順となった。47都道府県で前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は219例であり、前週(284例)から減少した。43都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(11例)、1～4歳(47例)、5～9歳(43例)、10代(31例)、20代(14例)、30代(12例)、40代(6例)、50代(9例)、60代(5例)、70代(13例)、80歳以上(28例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況を見ると、直近5週間(2026年第9週～2026年第13週)では、B型が297件(98%)、AH1pdm09が3件(1%)、AH3亜型が2件(1%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。